東福保育園　　3歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	いろいろな色に気づきながらかき氷制作を楽しむ

2025年　　7月　　２４日（木）

子どもの姿	・夏祭りでかき氷を食べたことが印象に残っているようで、会話によく出ている。 ・絵本や活動の中で色に気づく子が増えてきた。
「問い」を考える	・シロップづくりでどんな色に興味を持つのか。
活動をデザインする	・色とりどりの絵の具を用意し、自分で作ったかき氷にかけて遊ぶ。
環境をデザインする	・かき氷づくり（キッチンペーパー、紙コップ） ・シロップ（絵の具、容器）
小グループを構成する	・一人ひとりのことばや表情から気づいたことや驚いたことに共感し、思ったことや感じたことを言えるようにする。
振り返り	はじめは単色で絵の具のシロップをかけようとしていたが、保育士が混ぜてみると興味がわき色を混ぜたがるようになった。遊びの中で子どもたちから色の名前が出てくるようになったが、自分もつい子どもが言う前に色を口にしてしまう場面があり、子どもの発見や気づきを待ってから話しかけるようにすればよかったと反省する。子どもたちが色から物を連想したり、友だちのかき氷やメニュー表と色を見比べたりできるようになったことに成長を感じた。次回は容器を工夫して子ども自身が色を混ぜて遊べるようにしたい。

子どもの言葉・姿	写真
≪かき氷のシロップ作りで絵の具を見て≫ I…「しろ！白のかき氷食べたい」 J…「全部！レインボーにする！」 Y…「紫がいい」 T…「青と黄色がいい」 ≪保育士が色を混ぜていくと≫ I…「白と赤でピンクができた！桃だよ」 T…「みどり」（保育士が黄と青を混ぜて言う） Y…「青と赤がいい」（紫を作りたい） 「黄色と赤でオレンジにする」（２つ目） J…「…」（思っていた色にならず黙る） 保育士がJに「チョコレートみたいだね」と話すと「甘いよ」と嬉しそうにシロップをかける。 ≪シロップをかけて食べる仕草をしながら≫ I…「またシロップが白になっちゃった」 T…「みどりになった」（舌を見せながら） YとJも嬉しそうに自分の舌を見せ合う。 Y…「雲と同じ色」（Iのかき氷を見て） ≪テーブルのメニュー表を見て≫ I…「これとこれが同じ！Iの白！」 J…「ぼくのこれ！」 T・Y…「これ」（自分のものとメニューのシロップの色を交互に指さして知らせる。）	